

# クロム活用シート

## 4年 算数科

1. 単元名『面積』
2. 本時の評価規準 長方形を組み合わせた図形の面積の求め方を、図形の構成の仕方に着目して考えている。【思考・判断・表現】
3. 指導計画

	学習活動	ICT 活用場面
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・反転学習でしてきた課題を電子黒板で確認し、本時の課題をたてる。</li> </ul> <p>様々な形の面積をより早く求めるには</p>	<p><b>C1 発表や話し合い</b></p> <p>ノートアプリを電子黒板に映し、様々な考え方があることを背景の色で分ける。</p>
展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・十字型の面積をより早く求める方法を、マイスタ学習を取り入れ話し合う。</li> </ul> <p>C: 5つの正方形に分けたら、(一つ分) × (いくつ分) で求められそうだな。</p> <p>C: 長さが同じところを見つけると、移動させることができそうだな。</p>	<p><b>B1 個に応じる学習</b></p> <p>図形の一部が動くようにしたアプリを、ヒントコーナーに置いておく。</p>
終末	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時で学習した、かけ算や移動して求める方法を使って、能美市内の学校の面積を求める。</li> <li>・ふりかえりを記入する。</li> </ul>	<p><b>B1 個に応じる学習</b></p> <p>ふりかえりをスプレッドシートに書く。</p>

### 4. 情報活用能力 (情報活用能力体系表より)

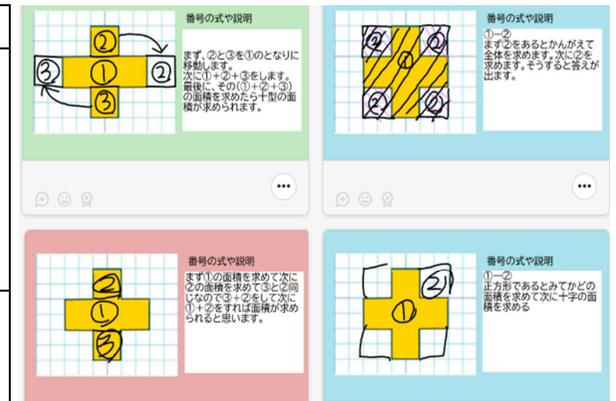
II	思考力 判断力 表現力	I	問題解決・探求における情報を活用する力
		①	必要な情報を収集、整理、分析、表現する力
			表現方法を相手に合わせて選択し、相手や目的に応じ、自他の情報を組み合わせて適切に表現する

### C1 話し合いや発表

### B1 個に応じる学習

使用するアプリ等 「オクリンクプラス」

	活用の流れ
①	反転学習として、自宅で課題に取り組ませたノートアプリを提出させる。担任は児童の思考の流れを事前に把握する。
②	交流前に電子黒板に映し出し、他者参照させる。児童はカードの色を見て、交流する児童を決める。



<https://miraiseed->

### B1 個に応じる学習

使用するアプリ等 「スプレッドシート」

	活用の流れ
①	毎時間のふり返りをスプレッドシートに書き溜めていく。児童は授業が始まる前に前時のふり返りを確認する。

振り返り	記号
いろいろな形の面積をよりはやく求めるには、同じ形を見つけてかける方法と同じ長さを見つけて移動すれば早く求められると分かりました。移動する方法はちがう形と同じ長さの辺があったらつかえるとわかりました。マイスタでは、同じ長さを見つけて移動する方法をみんなに広められたので良かったです。同じ考えでもまだちょっと説明の仕方が分からない人と交流して、相手をより納得させたので、自分の考えに自信をもてました。	○
私は今日の授業でマイスタをして自分が考えていなかった考えを見つけることができました。でも一番早く簡単に求めることができるのは同じ長さを見つけて移動させることだということがわかりました。	○

### 活用の効果

事前に自宅で課題に取り組むことで、児童はじっくりと自分の考えをもつことができた。教師も事前に児童の考えを知ることができ、交流させる視点が明確になった。また、毎時間の全児童のふり返りを見られるようにしたことで、自分になかった視点に気づくことができる助けとなっていた。